

大型事業は、合併特例債の期限の動向を見据え慎重に

市長／現在、計画しているものは推進する。



隈部 和久 議員

大型事業について

議員 現在、計画されている大型事業の内、有馬商業高校跡地の、人工芝サッカー場をメインとした多目的運動公園と、旧龍石小跡の市給食センター建設計画については、その内容や進め方の急ぎさに対し、非常に懸念を持っている。合併特例債の延長を視野に入れて、現場や関係者の意見や、市民の声をしっかりと反映させ、より良い物となるよう、見直しも含め再検討すべきではないか。

市長 今まで協議検討し積み上げてきたので、現状の計画を推進していきたい。

議員 このような大型事業（この2件は教育委員会）は、担当部局2・3名で行うのではなく、プロジェクトチームを立ち上げて、計画立案から完成まで、移動のない部局横断のチームで遂行すべきである。2期目に当選されたならば、是非とも念頭においていただきたい。

公共施設の補修や雨水排水対策について

議員 各町の公共施設で建物の劣化や、内部の機器や備品等の傷みが目立つ箇所がある。旧町時代から各々の町の住民が集う施設の老朽化は、寂れ感を助長させる。将来へ残すものは順次、スピード感をもって補修、改修すべきではないか。

画の検討をしている。主要施設の大規模改修や修繕については、遅滞なく行っていきたい。

雨水排水対策について

議員 近年の、短時間に集中的に降る雨に対し、旧町時代からの排水機能が対応できず、冠水する箇所が増加している。大規模な流末からの改修を、年次計画を立て是非、取り組んでもらいたい。

市長 今まで把握していない所もあったと思うが、市民の安全、安心の為にしっかりと取り組んでいきたい。



豪雨による被害

有馬の地下水の加津佐地区への送水を提案していたが

市長／現在、加津佐地区へ地下水を送水している。(34自治会、1,245件)



黒岩 英雄 議員

市長の政治姿勢について

議員 市長の市政報告の中で、私の一般質問の議案と関係する、
① 農村整備事業の補助率を、現行の5割から、農家の実情を把握し、補助率を8割へ上げてはいかがかと要望した。
② 水道事業では、平成22年3月議会で、南有馬の北岡の福祉センターで利用している、地下水2,000トン、加津佐地区へ送水できないかと提案した。

③ イノシシ柵の、一つのマスの穴が大きいため、イノシシの子供が侵入するので小さくしてもらいたいということ、地域全体の囲い込みを実施しているところで、イノシシの進入を防げないので、柵の追加要求ができないか要望していたが。

市長 議員から、農業関係の8割補助であるとか、あるいは建設サイドの、200万円を限度とした地域で行っていたり、事業実施とか、水道事業では、未普及及び地域への水道問題で、北岡の福祉センターから加津佐地区への送水問題など、いろいろと提案をしていた。議員が言われていたことを、改めて忘れることなく思い起こしている。

イノシシの柵の件だが、今年度に、市の単独事業として、創設して防護柵機能向上対策事業は、既設の防護柵の機能をさらに向上させ、イノシシに

よる被害を減らす目的としたが、もつと小まめに柵をできないかという要望で、各地区の調査を行ったところ、5地区3,440mの防護柵の整備に對して、今回支援を行うことにした。さまざまな要因で、防護柵の機能が十分發揮されていない地区もあることから、来年度、平成25年度以降に、防護柵を設置された地区も含めて、要望調査を行う事業の実施ができるよう取り組みたい。

ドローンについては、災害時の調査や、救助活動などに活用でき、大変有効だと思われるので、現在導入に向け検討している。



加津佐地区への地下水送水イメージ